

2023 年 3 月期第 2 四半期決算説明会 主な Q & A

※ 当日の質疑応答をそのまま書き起こしたのではなく、当社の判断で簡潔にまとめたものであることをご了承ください。

[運賃・料金制度]

Q： 国土交通省では鉄道運賃・料金制度のあり方に関する小委員会が開催されているが、当社の鉄道運賃・料金制度への考え方と主張はどのようなものか。今後の議論のスケジュールは決まっているか。

A： 運賃や料金を大幅に値上げするというよりは、提供しているサービスに対して適切な対価を頂くという考え方で運賃を設定したいと考えている。委員会の中間取りまとめによると、現行制度における原価算定方法は、現在の鉄道事業経営に合わない箇所があるため、適切な算定方法を検討してくださるものと認識している。また、運賃・料金設定の自由度の向上に関する議論についてもお願いはしているが、時間はかかるものだと想定している。引き続き、適切な算定方法や、運賃・料金設定の自由度の向上を主張していく。

[オフピーク定期券]

Q： オフピーク定期券導入を準備していると思うが、1.4%の値上げと 10%の値下げの組み合わせによって、旅客需要の平準化を実現できるのか。実際にコストダウンに寄与するか。

A： これまでポイント付与などのキャンペーンを実施してきたが、オフピーク時間帯の 10%程度の値下げはインセンティブが大きいと考えている。予定している値上げ・値下げ幅では、オフピーク時間帯へのシフト率は 5%程度と見込んでいる。現在は、コロナによるご利用減少に伴って列車本数を調整した結果、コロナ前よりも少ない編成で営業可能な状況であるが、今後のご利用回復時にピークシフトを促すことで、今と同等の編成数で事業運営が可能になり、将来の車両更新時等のコストダウンを実現する事ができる。

[高輪ゲートウェイシティ]

Q： 現在のオフィス市況は厳しい環境にある事に加え、2025 年には多くの供給が見込まれる状況だが、高輪ゲートウェイシティのリーシングスタンスはどのようなものか。賃料と高い稼働率のどちらを重視するのか。

A： 当社の不動産事業は、駅に近い好立地で建物も良質なものを備えており、競争力が高くお客さまから選ばれる物件であると考えているため、賃料もしっかりいただけると考えている。

[設備投資]

Q： 来期以降の設備投資の水準は。

A： 今後も、維持更新投資は安全の確保を前提としながら抑制しつつ、成長に関する投資は積極的に実施する。来期以降は、高輪ゲートウェイシティへの投資が本格化するため、高い水準で推移する見込みである。

以上